

男子新旧キャプテン挨拶

主将 山下 啓補

今年は4年生となり、最後のシーズンだった。私は主将としてこのシーズンを迎えた。そして、チームの目標を「2部全勝優勝」と掲げ、練習に取り組んだ。結果は2部リーグ4位と良い結果を残すことはできなかった。今年はリーグの5・6位が3部に降格となり、4位が入れ替え戦に出場となったが入れ替え戦には勝利し、2部残留となった。目標に掲げていた「2部全勝優勝」を達成することができず、不甲斐ない結果となってしまったが、九州リーグの6試合では自分たちらしい試合ができたと思う。後輩たちは自分たちの掲げた目標が達成できるよう頑張ってもらいたい。

この1年間も新型コロナウイルスの影響を受ける1年となり、大会の中止や日々の活動が制限されることもあった。中でも他のチームと練習試合を行うことが難しいことや感染者が出てしまい、試合を辞退せざるを得ないこともあった。そのような中で1年間を無事に終えることができたのは同期や後輩でチームの運営等、色々な部分で支えあうことができたからであり、それが福岡教育大バスケットボール部の良さだと思う。新チームは、プレイヤーが少ないことになどの不安要素もあると思うが、チームで支えあう気持ちを忘れることなく、活動に励んでもらいたい。

このチームで4年間、最後に1年間はキャプテンとして様々な経験をさせていただいた。来年からは教員としてこの経験を生かせるように頑張っていきたい。最後にコロナ禍という厳しい状況でありながらも私たちの応援、支援をしてくださった石橋先生をはじめ、OB・OGの方々、本当にありがとうございました。これからも福岡教育大学バスケットボール部の応援をよろしくお願いいたします。(部報より抜粋)

新主将 塚本 颯太

昨シーズンも新型コロナウイルスの影響により、練習メニューや時間に制限があり、九州リーグ4位という悔しい結果に終わりました。このような状況下でも練習を行えたこと、試合ができたこと、OB・OGの方々の支えがあったからこそだと思っています。本当にありがとうございました。新チームは昨年までに比べてコロナも少しずつ治まり、練習メニューや時間の制限も緩和されました。今年はチームの身長も低く技術面においても課題が多く見られるため、基礎練やランメニューを多く取り入れ堅守速攻のチーム作りをしています。九州リーグで少しでも多く勝つことができるよう、日々の練習を大切にしていきたいと思っています。バスケットボールができることのありがたさを忘れずに、チーム一丸となって頑張っていきます。コロナの制限が緩和され、観客の制限もなくなってきました。良い試合を見せられるよう、良い結果を見せられるよう頑張ります。これからも応援よろしくお願いいたします。